

続・奇跡はある

徳永 耕一

(17)

題字・林田八郎

事務合理化

自分史の本と重複するが、当社ではいくつかの事務合理化を実施している。参考になれば、幸いである。

○省略漢字

漢字を書くとき、楷書にこだわっていると、ひとつの文字を書くのに時間がかかる。

例えば、動、産、業、東、書…これらはしょっちゅう出てきて、その都度煩わされるが、中国の略体漢字で書けば、動、産、業、東、書となり、格段にスピードアップする。

そういうわけで、思い切って略体漢字を使うことに決めた。ちなみに、私は、借用書や役所に出す書類も、略体漢字を使用している。

○音声入力

文字入力の競争をしたら、多分、日本一のタイピストよりも私たちのほうが速いと思う。『音声入力方法』を利用するからだ。

この自分史も音声入力で書いているが、もし手書きやキーボード入力なら、途中でとっくに諦めていただろう。

○サイン

印鑑よりもサインのほうが手軽で、保管の必要もなく、個人的でもある。当社は、全員がサインだ。大谷選手のサインがもし印鑑だったら、価値があるだろうか？

○キャッシュレス

現金によって人はどれだけ頭を煩わされていることだろう



本社兼ホテルプレミア外観写真と筆者や社員のサイン



ジスコ不動産株式会社
ジスコホテル株式会社
ジスコ子ども支援株式会社

長崎県諫早市永昌町4-26

| TEL | 0957-27-1112 | FAX | 0957-26-1777

か！ホテル開業時、少しでも現金から開放されたいとの思いから、宿泊料金を現金で受け取らずに、自動支払い機を通していただくことにした。

○単語登録

ビジネス文書は、同じ単語や文章を使うことが圧倒的に多い。だから、それらを単語登録しておいて、頭の一字だけの入力で出てくるようにしている。

例：「あ」に「ありがとうございます！」

○「さん」つけ

社員間は、東京デイズニールランドにならって「さん」で呼び合っている。

「こんなに大胆に省略漢字を使っていいんですか？」、「声をしながら文字を入力するなんて恥ずかしいです」、「サインなんてしたことがあります」など、合理化案を出した際に、社員からは不安や不審の声が聞かれたが、「喉元過ぎれば熱さ忘れる」で、今や定着している。

○訪問

一方で、時間や手間がかかっても、相手先への訪問や資料持参は極力実施するようにしている。

商談の相手のところへは極力、こちらから出かけて行くように気がけてきた。そのほうが、相手が恐縮してくれて、商談がスムーズに進みやすい。毎月の銀行への報告書も、私自身が持参している。代表者が持参したということで、一定の評価をしていただけた。よかった。

○禁煙

当社のホテルでは、全九百二十室を「客室内禁煙」にしている。決定のときには勇気がいったが、「案ずるより産むが易し」、お客様の理解はほぼ得られた。

〈次回11月15日掲載予定〉